

# ご家族といっしょに 聞こえをチェックしてみましょう。

耳と聞こえのこと

聴力の低下は自分では気が付くにくいものです。

自分の聞こえのこと、どこまで把握していますか？

「この頃、会話がちょっと…」という方や、「そろそろ補聴器を…」という方。

生活の中での聞こえの状態をチェックしてみませんか。

## 聞こえの自己チェック

- 会話をしている時、しばしば聞き返すことがある。
- 小さな話し声やささやき声が聞き取りにくい。

はい 1つでも「はい」があったら下に進む

- 隣の部屋や後方で行われている会話には気づかないことがある。
- 時々、テレビやラジオの音が大きすぎると注意される。
- 話を正確に聞き取れないのに、相づちを打つことがたびたびある。

はい 1つでも「はい」があったら下に進む

- 電話の声が聞き取りにくいことがある。
- 銀行、役所、病院などで名前を呼ばれても聞き逃すことがある。
- 非常に大きな声での会話のみ聞き取れる。

はい 1つでも「はい」があったら下に進む

- 大きな声で正面から話をされても聞き取れないことが少なくない。
- 目の前の電話のベルが聞き取れない。

はい 1つでも「はい」があったら下に進む

## 推定聴力レベル

聴力レベル  
dB(HL)

正常

ほとんど  
不自由しない

0

## 補聴器の必要度

補聴器を必要としません。

軽度

二度聞きしたり  
聞き間違える  
ことがある

25

中度

大きめの声  
でなければ  
聞き取れない

40

高度

耳元での大声  
でなければ  
聞き取れない

70

重度

耳元での大声  
でも聞き取れない  
ことがある

90

補聴器の使用を考えてみてはいかがでしょう。  
聴力の低下による聞き間違いや生返事による誤解、トラブル、仕事上の支障が起こる可能性があります。

毎日の生活にぜひ補聴器を活用してください。  
聞こえが原因でコミュニケーションがうまくいかなくなると、家族や周囲の人々に悪影響を与えてしまうこともあります。

早急に補聴器を使用することをおすすめします。  
周囲の人とのコミュニケーションが疎遠になるだけでなく、日常生活にもかなりの困難が生じているはずです。

補聴器を使用しないと危険な状態です。  
会話や電話のベルだけでなく、自動車のクラクションなどが聞き取れなくなると、自分や周囲の人々に危険が及ぶ恐れがあります。

※推定聴力レベルと補聴器の必要度のコメントはあくまでも目安です。

※自己チェックだけでなく、耳鼻科の専門医もしくは補聴器取扱店にご相談ください。